

第9回北九州市まち・ひと・しごと創生推進協議会での主な意見

総合戦略全般

- ・優先順位を共有し、議論のターゲットを3つくらいに絞って議論したほうが議論が拡散しなくてよいのではないかと（例えば、人口減少に歯止めをかける、若者が働ける住みよいまちにする、など）。
- ・年に1度の協議会ではどうしても議論が総花的になってしまうので、会議をいくつか（①大学②企業③マスコミ④自治会など）に分けて1回議論を深めてから全体会議をしてはどうか。
- ・外国人、日本人問わず、市外に転出する理由についてアンケートをとれないか。

I 北九州市にしごとをつくり、安心して働けるようにする

- ・女子学生への就職希望調査では、どういう仕事に就きたいかという質問に対し、「丸の内」「天神」で働きたいという希望が多く、ステイタスや周辺環境も大きい。しかし、現実的には、福岡市の一人あたりの年収は（サービス業が多いので）高くない。北九州は製造業が多いので平均的に賃金は高い。住みやすさ、まちの魅力と同時に、こういったこともPRしていくべき。

II 北九州市への新しいひとの流れをつくる

- ・外国人留学生の北九州市への関心が高まっているように感じる。市外から来る学生や、特に外国人留学生については住まいの問題があるので、今後寮なども協力をいただきながら整備していきたい。

III 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ・保育士の募集に関して、福岡市は就職に関する準備金や家賃補助をしているという新聞広告を見たが、学生にとっては非常に魅力的なようである。北九州市も検討できないか。

IV 時代に合った魅力的な都市をつくる

- ・空港やホテルなども、人手不足のために国際便を増やしたいができない、大手ホテルチェーンも進出を中所していると聞いている。まちの魅力を高めて人材を引き付けるための、市独自のインセンティブを検討できないか。